

5 畜 産

項 目	作 業 内 容								
<p>(1) 飼料作物の湿害対策</p> <p>(2) ハエ対策</p>	<p>(今月の作業のポイント)</p> <p>圃場の湿害対策 ハエ対策</p> <p>飼料作物の播種直後や生育途中での冠水は、それぞれ発芽不良や茎葉への泥土付着など、生育を停滞させる。また、長雨は日照不足と圃場の過湿を招き、根の伸長が悪くなるとともに、軟弱な生育となり低収量の原因となるため、初期生育時には次の対策を行う。</p> <p>ア 冠水した圃場では、根の障害、茎葉の損傷などで生育不良となるので、水が引いて1週間後10a当たり窒素成分で1.0～1.5kgの追肥を行い、回復を図る。</p> <p>イ 冠水によって茎葉に泥土が付着した場合は、散水によって泥土を洗い落とす。</p> <p>ウ 長雨による排水不良は、作物の生育を阻害するので、圃場の周囲に排水溝を設置して表面水の除去を行う。</p> <p>ハエは一般的に春から初夏にかけてと、秋口に大量発生する傾向がある。ハエの大量発生は、病原細菌やウイルスを媒介する可能性もあり、畜舎周辺住民に対する不快感だけでなく、経営継続を困難にする問題に発展する可能性もある。</p> <p>また、サシバエ・アブ等は吸血により、家畜へかゆみや痛みなどのストレスを与え、生産性の低下にもつながる。</p> <p>ア ハエの生活環</p> <p>イエバエの場合、産卵(約500個)から成虫まで約2週間で、成虫の寿命は約3週間である。また、殺虫剤が有効なのは成虫期と幼虫期で、サナギには固い殻があるため効果がない。</p> <p style="text-align: center;">表1 ハエの生活環</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">卵</td> <td style="text-align: center;">10時間</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">幼虫(ウジ)</td> <td style="text-align: center;">1週間</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">サナギ</td> <td style="text-align: center;">1週間</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成虫</td> <td style="text-align: center;">3週間</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 幼虫(ウジ)対策</p> <p>ハエ対策の基本は発生源対策である。除糞、清掃に努め、畜舎内外を清潔にし、除去した糞は早く乾燥させるか発酵処</p>	卵	10時間	幼虫(ウジ)	1週間	サナギ	1週間	成虫	3週間
卵	10時間								
幼虫(ウジ)	1週間								
サナギ	1週間								
成虫	3週間								

項 目	作 業 内 容																											
	<p>理をする。ウジは乾燥、高温に弱いことから堆肥の発酵熱を利用し駆除するが、表面の温度が上がらない部分で大量発生することもあるため、繰り返しや表面をビニールで覆う必要がある。</p> <p>ウジに使用する殺虫剤には、幼虫に直接噴霧し即効的に殺す薬剤と、幼虫の脱皮・羽化を阻害し、死滅させる生育阻害剤（IGR剤）がある。薬剤抵抗性を考えるとIGR剤による駆除が有効である。</p> <p>ウ 成虫（ハエ）対策</p> <p>成虫対策の代表は殺虫剤の散布である。空中散布をする時は夕方～朝や雨天の日に、畜舎の天井や壁などに止まるハエをめがけて噴霧すると効果的である。同じ薬剤を続けて使用すると薬剤抵抗性ができるので、系統の異なる薬剤をローテーションすることが重要である。</p> <p>表2 ハエの薬剤対策</p> <table border="1" data-bbox="502 1048 1410 1727"> <thead> <tr> <th data-bbox="502 1048 571 1137">区分</th> <th data-bbox="571 1048 753 1137">分類</th> <th data-bbox="753 1048 1118 1137">特徴</th> <th data-bbox="1118 1048 1410 1137">使用方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="502 1137 571 1451" rowspan="4">幼虫</td> <td data-bbox="571 1137 753 1227">カーバメイト剤</td> <td data-bbox="753 1137 1118 1227">速効性、効果強、ヒトに毒性有</td> <td data-bbox="1118 1137 1410 1227">粉末を堆肥上へ散布</td> </tr> <tr> <td data-bbox="571 1227 753 1317">有機リン剤</td> <td data-bbox="753 1227 1118 1317">速効性、効果強、家畜・ヒトに毒性有、耐性でしやすい</td> <td data-bbox="1118 1227 1410 1317">水で希釈し堆肥の上へ散布</td> </tr> <tr> <td data-bbox="571 1317 753 1406">生育阻害剤</td> <td data-bbox="753 1317 1118 1406">効果強、散布しやすい、家畜に安全</td> <td data-bbox="1118 1317 1410 1406">水で希釈し噴霧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="571 1406 753 1451">オルソ剤</td> <td data-bbox="753 1406 1118 1451">安価、強臭</td> <td data-bbox="1118 1406 1410 1451">水で希釈し噴霧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="502 1451 571 1727" rowspan="3">成虫</td> <td data-bbox="571 1451 753 1541">ピレスロイド製剤</td> <td data-bbox="753 1451 1118 1541">速効性、残効性少</td> <td data-bbox="1118 1451 1410 1541">水で希釈し虫体噴霧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="571 1541 753 1630">有機リン剤</td> <td data-bbox="753 1541 1118 1630">残効性有、家畜ヒトに毒性有</td> <td data-bbox="1118 1541 1410 1630">水で希釈し噴霧、毒餌法</td> </tr> <tr> <td data-bbox="571 1630 753 1727">その他</td> <td data-bbox="753 1630 1118 1727"></td> <td data-bbox="1118 1630 1410 1727">水で希釈し虫体や壁に噴霧</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="817 1738 1321 1861">目的にあった薬品を使いましょう。 正しい濃度で、きちんと混ぜましょう。 正しい量を散布しましょう。</p>	区分	分類	特徴	使用方法	幼虫	カーバメイト剤	速効性、効果強、ヒトに毒性有	粉末を堆肥上へ散布	有機リン剤	速効性、効果強、家畜・ヒトに毒性有、耐性でしやすい	水で希釈し堆肥の上へ散布	生育阻害剤	効果強、散布しやすい、家畜に安全	水で希釈し噴霧	オルソ剤	安価、強臭	水で希釈し噴霧	成虫	ピレスロイド製剤	速効性、残効性少	水で希釈し虫体噴霧	有機リン剤	残効性有、家畜ヒトに毒性有	水で希釈し噴霧、毒餌法	その他		水で希釈し虫体や壁に噴霧
区分	分類	特徴	使用方法																									
幼虫	カーバメイト剤	速効性、効果強、ヒトに毒性有	粉末を堆肥上へ散布																									
	有機リン剤	速効性、効果強、家畜・ヒトに毒性有、耐性でしやすい	水で希釈し堆肥の上へ散布																									
	生育阻害剤	効果強、散布しやすい、家畜に安全	水で希釈し噴霧																									
	オルソ剤	安価、強臭	水で希釈し噴霧																									
成虫	ピレスロイド製剤	速効性、残効性少	水で希釈し虫体噴霧																									
	有機リン剤	残効性有、家畜ヒトに毒性有	水で希釈し噴霧、毒餌法																									
	その他		水で希釈し虫体や壁に噴霧																									